

基礎・基本の確実な習得をめざした授業実践の在り方 ～言語活動を重視した授業技術の工夫を通して～

平成22年10月13日 福岡市立福岡中学校

1. 研究の概要

本校においては、各教科における基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させることが必要である。そのために、言語活動を重視して、授業実践の在り方を工夫改善し、生徒の学力向上および教師の授業力向上を図る。さらに、生徒自らが進路を切り拓いていくための進路保障へと広げていく。

言語活動を支えるのは、「教科学習の場」「心をはぐくむ場」「環境づくりの場」の3つの場である。これらを充実させることにより、各教科における基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。

基礎・基本の習得を支える言語活動

①教科学習の場

基礎・基本の確実な習得をめざす教科学習の指導

1. 授業の展開における工夫
 - 言語活動による習得指導
 - 言語活動による確認指導
 - 「めあて」と「おさらいタイム」の設定
2. 言語活動による習得指導・確認指導を支える工夫
 - 主幹教科の国語科の役割・「司会、発表モデル」提示
 - 各教科における基礎・基本の習得のために、「学びのモデル」提示

②心をはぐくむ場

言葉を通して人権感覚を育てる指導

1. 目的・相手を意識した「伝え合う活動」の設定
 - 道徳の時間、学級活動、総合的な学習の時間等でも、「司会、発表モデル」を活用
2. 自尊感情を高める場の設定
 - 目的を意識し、相手を尊重した学級活動の工夫・KJ法や交流場面を活用した「心を育てる言葉」の作成、掲示

③環境づくりの場

「ことばを大切に」教育環境の創意工夫

- 日本の伝統文化のよさを伝える指導
(七夕の願いごと、慣用句の掲示物)
- 「自学」の志を育てる指導
(座右の銘となる言葉)

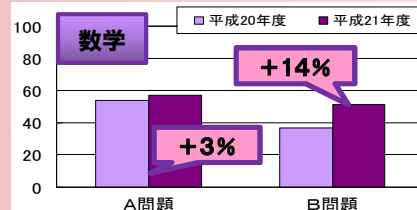
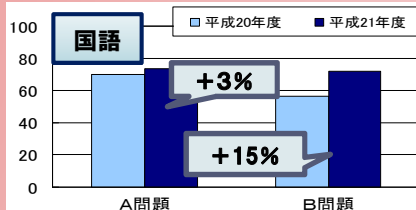


2. 生徒の実態

本校の生徒は、不登校生徒の数や暴力行為の件数等は少なく、充実した学校生活を送っている。しかし、学習面の定着に課題が見られる。また、全国学力調査の質問紙調査や教職員の分析に加え、今日的な教育の課題から、「ことば」を大切にする教育の必要性がうかがえる。

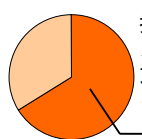
学力向上への期待

本校における全国学力・学習状況調査結果(H20～21)

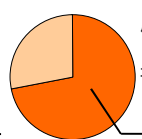


「ことば」を大切に する教育の必要性

全国学力・学習状況調査 質問紙結果(H21)



授業で、自分の考えを発表したり、文章に書いたりするのは難しい
…66%



原稿用紙2～3枚の作文を書くことは難しい
…72%

教職員が分析した生徒に必要な力

- ・聴いて理解する力
- ・書く力
- ・コミュニケーション力

新学習指導要領

新しいふくおかの教育計画

4. 研究構想図



5. 本校における「基礎・基本」のとらえ方

思考力・判断力・表現力
 に向かう基礎・基本



「確かな学力」と「豊かな心」を子どもたちに
 はぐくむために…(H16.5 文部科学省)より

学ぶ意欲	学習活動の基盤である学習意欲の向上が本校の課題
知識・技能	課題を解決する上で必要とされる基礎的・基本的な知識や技能の定着が本校の課題
学び方	基礎・基本の学習を言語活動を手だてに進める上で必要となる, 学びのモデル

6. 本研究の今後の方向性

- 教育指導計画における各教科・領域での言語活動の明確な位置づけ
- 言語活動の主幹教科である国語科と, 他教科の単元での関連性の明確化
- 言語活動を取り入れた道徳, 学級活動, 総合的な学習の時間の進め方
- 言語活動で培った生徒の言葉の力を, 発揮し認め合う場の設定

